

ヴァーブル&コミュニティ情報

申し込み・問い合わせ先 **ヴァーブル** ☎248-5555
トレーニングルームは点検のため、**11月30日(水)**が休館日です。

11月
市民講座

元気づくり体験講座

いつまでも元気でいたいと、誰もが思う ～てんとうムシ体操、みつばち体操と出会って～

健康寿命の延伸に効果が期待できる『てんとうムシ体操』と『みつばち体操』を楽しく体験してみませんか。
席に座ってできる簡単な手足の運動や、かかとやひざを動かす体操です。

受講料
無料

と き **11月25日(金)** 午前10時15分～正午
(受け付けは午前9時45分～)

と ころ **総合センター「ヴァーブル」文化会館**
※当日はマスクを着用し、筆記用具をお持ちください

申込方法 **ヴァーブル窓口** ※当日参加も可能

講 師

日本レクリエーション インストラクター **とくなが やすこ 徳永 泰子さん**

健康寿命100歳プロジェクトの一環として、転倒と尿失禁を予防する『てんとうムシ体操』と『みつばち体操』の普及に尽力。
本市を中心に熊本県下で活躍する人気のインストラクター。



誰もがムリなく
楽しくできる
体操だよ



令和4年度 第4回ふるさと探訪まちめぐりバス 『熊本博物館と修復中の熊本城を巡る』

第2回(10月4日)に実施した同企画の申込者が多かったため、同じ内容で再度実施します。
リニューアルオープンした熊本博物館では、数多くの展示品の見学とプラネタリウムの星空体験を行ないます。
熊本城では、案内ボランティアと共に、熊本地震で大きな被害を受け修復中の熊本城の石垣や、近隣の文化財を見学し、修復が完了した熊本城天守閣へも登ります。動きやすい服装でご参加ください。

と き **12月14日(水)** 午前8時～午後4時30分
※少雨決行

と ころ ①御代志市民センター玄関前
(集合)午前8時30分
(解散)午後4時頃

②ヴァーブル玄関前
(集合)午前8時10分
(解散)午後4時頃

内 容 ・熊本博物館(プラネタリウム体験含む)
・二の丸公園
・わくわく座(城彩苑・昼食)
・修復中の熊本城の石垣とその周辺文化財の見学(熊本城天守閣登楼)

参 加 費 2,000円(入場料ほか、昼食代別)
対 象 市内在住の人(30人)
※応募者多数の場合は抽選
申込方法 電話(生涯学習課 ☎248-5555)
申込期限 11月30日(水)午後5時



地域おこし協力隊通信

“マンガ県くまもと”を目指して

県内のマンガ家・クリエイターの活動を応援します

地域おこし協力隊 **あんざい わたる 安在 渉**
●問い合わせ先 合志マンガミュージアム ☎273-6766

マンガで
“県おこし”
協力隊



こんにちは。地域おこし協力隊の安在です。マンガミュージアムを拠点に、マンガの楽しさを伝えていきます。

くまもとマンガ協議会

マンガワークショップ活動を中心に活動していますが、その他にも、地域おこし協力隊として『くまもとマンガ協議会』に参加しています。

この協議会は「マンガ県くまもと」を目指すために、どのようなイベントや事業を行なうべきか、各自治体や企業が集まって協議する場です。

現在では、ワンピース像の活用方法や熊本ゆかりのマンガ家フェスタの企画、マンガ家支援のための事業についても話し合っています。

マンガ家・クリエイターへの支援

私はマンガミュージアムでマンガ教室の企画のほかに、高校でデジタルイラストの指導を行なっていますので、若いクリエイターの育成や支援に関わりたい・貢献できるだろうと思います。県内マンガ家の支援を検討する部会に参加しました。

そこで話し合われた支援の一つとして、マンガ家やクリエイターが熊本で持続的な活動を行なうためのネットワークづくりを企画しました。まずは、小規模なマンガ家・イラストレーター交流会を開催することが決定し、その交流会にファシリテーター(進行・調整役)として参加予定です。



▲県全体のマンガ振興にも貢献できるよう頑張ります

第76回 へんろし歴史発見

文化財
後川辺ヤンボシ塚古墳

所在地 合志市栄・後川辺
時代 古墳時代

この塚(古墳)は後川辺北側の高台で畑地に囲まれたところにあります。北側には谷を隔てて、泗水町福本の南原古墳に向かい合っています。この一帯を、ヤンボシ古墳群と言います。ヤンボシとは、山伏(修行僧)がその名の由来と言われており、熊本市西区にある山伏塚も「ヤンボシづか」と呼ばれています。

古墳の形は円墳で東西8m、南北7m、高さ3・5m、当初は14・5mで周りに約2mの周溝を巡らせた中型の円墳でしたが、昭和の初期頃畑地の改良工事で溝が埋められ、現在、周溝はありません。内部の構造は石棺であると推定され、石棺はおおむね塚の上部に安置されていると思われます。通常、高い塚の古墳は、誰でも造れるものではなく、その地域社会を統治した有力者に限られており、一般に眺望のよい丘陵に造られたものが多いと言われています。



▲左にも小さい古墳があります

問い合わせ先
生涯学習課 生涯学習班
☎(248)5555